

第 170 回実践勉強会 実施レポート

共催

エーザイ株式会社

大田区薬剤師会

参加者 60 名

『 知っておきたいアルツハイマー病の病態と治療の今 』

演者：東邦大学医学部放射線医学講座

臨床教授 水村 直 先生

質疑議事録

レケンビを投与されている方の年齢はいくつくらいの方が多いですか。

何か月継続されていますか。

→70 代以降の高齢者が多い。発売後 1 年 2 か月のためそれが最長の投与。脱落はほとんどない。

薬局でレケンビの治療を希望される方がいた場合、どのような紹介をすればいいでしょうか。主治医と相談して紹介状を作成頂いて東邦大学を受診する。検査で対象外となることもある。治療は 2 週ごとに通院し、1 時間くらいの点滴を受ける。治療費は高額。くらいでいいでしょうか。

→その説明で問題ない。

レケンビ投与を迷っている患者さんや家族に対して、薬剤師としてどのような声掛けをすべきでしょうか。

→2 週ごとの通院が必要になるが、副作用による脱落はほとんどない。本人や家族が治療に前向きであれば治療を勧めるべきである。東邦大学では侵襲性のないアミロイド PET 検査が利用できる。

高額療養費で戻りはあると思いますが、月いくらかかるか検査を含めてお教えてください。

→一般的な収入の高齢者の自己負担額は月 1 万 8000 円、薬価ベースでの薬剤費は月 25 万円になる。